

児童発達支援センター クオラバンビーノ

【2023年度】《事業所職員向け》放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容や改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・1日当たり10名定員での受け入れを行っています。子どもの人数に応じて使用する部屋を分けています。指導訓練室の中で年齢や人数に応じて、運動ができるよう十分な広さを確保しています。	・新型コロナウイルス感染症の影響で施設内を見て頂くことが難しい状況でしたが、感染対策を行い、施設の見学会を開催し、安心して利用して頂けるように取り組んでいます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・個別対応の子どもがいるときは、職員が足りないと感じます。 ・臨機応変に職員が応援に入っています。 ・言語聴覚士の専門職も配置し、適時療育についての助言を得て日々の支援の参考にしています。	・ニーズに合わせた専門職員の配置をした場合は、保護者へ活動の様子をお伝えできるように努めています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・車椅子でどこでも入ることができるようにスロープを設置し、床もクッションフロアを採用し安全面に配慮しています。	・施設の見学会を開催し、安心して利用していただけるように取り組んでいます。今後も定期的に見学をしていただく予定です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・定期的に職員会議を行い、業務改善検討を行っています。毎日、全職員で当日の活動計画についての共有を行い、療育提供後に職員間での振り返りを行っています。人事考課制度を導入し、職員のスキルアップのための目標設定を行い、定期的に個別面談の中で見直しを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・定期的に保護者との個別面談を行い、具体的な相談等にも事業所全体で対応しています。避難訓練等の実施やガイドラインの周知など、アンケート調査で周知されにくい事柄を挙げ、毎月発行する通信に掲載するようにしています。	・今後も、本アンケートなどでの保護者の意見を参考にさせていただき、改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・事業所ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・現在は外部評価を受けていません。	・受けることを検討してきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・虐待、人権擁護、感染対策、接遇、発達評価等について研修を行い、共通認識を得られるような機会をつくっています。また、外部の講師を依頼し、療育指導の機会をつくり、現場での対応について指導を受けています。	・研修の開催について、基準を満たしてはいるものの、職員への周知を図るためにはさらに回数を増やして開催していく必要があると考えます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者との個別面談（アセスメント）、グループ担当職員へのモニタリングを行うとともに、送迎時等に学校での様子を確認し、担任との情報共有等を行っています。 ・専門職からの情報共有を取りまとめ、課題を分析し、個別支援会議の中で、情報を確認した上で、個別支援計画に活かしています。	・新型コロナウイルス感染症の影響で電話での面談を実施しているため、感染対策を実施したうえで、対面で面談できる機会を増やしていきたいと考えます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・関係機関との連携を取りながら必要な情報収集を行っています。	・現時点では実施できていませんが、今後、言語聴覚士による評価の導入を予定しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・放デイグループのリーダーとサブリーダーで日々の活動計画のねらい、課題、支援の配慮等について検討、作成しています。	・必要に応じて職員全体で検討を行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・工夫しているが、子どもの好きな遊びを提供しているため、固定化してしまいます。季節感のある課題を取り入れ、個々の発達段階を踏まえ、一人ひとりがスモールステップで成功体験を得られるようプログラムを設定しています。	・子どもたちの興味関心に合わせた活動を計画できるよう職員のスキルアップに努めていきます。

児童発達支援センター クオラバンビーノ

【2023年度】《事業所職員向け》放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容や改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平常日、祝日など、療育提供時間に合わせて、時間配分しながら課題を設定しています。長期休暇には、公園や図書館など公共の場に出向き社会性の向上に努めています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・発達段階や状態、学年に応じて、内容を検討し、個別で取り組む課題設定のほかに、集団で参加できる遊び等も取り入れています。	・一人を好む児童や集団を好む児童など、子どもの状態を確認しながら、安心して過ごせる場の提供について、検討を進めています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日、療育担当職員会議で、全グループについて、活動のねらい、流れや課題、支援の中での配慮事項の確認など情報を共有しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動に参加した全職員で振り返りを行い、活動計画へ反省の記録を行い、次回の計画作成に活かしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・療育実施後、全児童について、着替え、排せつなどの生活面や遊びの中でのやりとりなど、それぞれの課題について個別の経過記録を残すようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1回以上、定期的に個別のモニタリングを行い、支援の継続、見直しの必要性について検討しています。見直しが必要な場合は、アセスメントも行い、計画を立て直すことで、適切な計画を維持できるよう努めています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を見直しているか		○	・自立支援や創作活動、地域の社会資源などを活用したプログラムを立案し、支援につなげていけるよう努めています。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者及び担当職員が参加し、児童の状態、発達課題等について情報共有できる場として活用しています。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時に担任教諭と情報共有する場をつくっています。また、保護者との連絡帳及び学校担任との連絡帳も活用しており、随時必要な情報は把握できるよう努めています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・対象児がいないため対応していません。必要に応じて、保護者の了解のもと連絡を取る体制を作っています。	・対象となる方の受け入れができるよう体制を整えていきたいと考えています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・相談支援事業所を通して、情報共有を図り、随時必要な情報は把握した上で受け入れられるよう環境を整えています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	・まだ、対象になる子どもがいないためわかりません。 ・開設後対象児がいないため、今後必要に応じて対応していきます。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・発達や特性に応じた対応を相談し、専門職からの助言を受けています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・現時点では実施できていません。	
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・さつま町自立支援協議会の分担会である子ども部会に参加し、療育現場からの意見を挙げています。	

児童発達支援センター クオラバンビーノ

【2023年度】《事業所職員向け》放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容や改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳を活用し、利用時に状態を把握できるような環境を作っています。また、活動後の振り返りの中で、保護者からの意見を頂きながら、課題について共有し、対応しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	・現時点では実施できていません。	・今後ペアレントトレーニングを実施できるよう環境を整えていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に運営規定、重要事項等について、保護者に個別説明を行っています。また、内容に変更があった際には、その都度保護者への説明を行い、理解を得られるよう努めています。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・送迎時、積極的に声かけしています。 ・いつでも相談を受け入れる体制を整え、相談があった場合には時間を置かず速やかに解決できるよう寄り添っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・現在は活動できていません。	・新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、感染対策等行いながら開催できるように努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・現時点では苦情とするものはありませんが、挙げた場合には事業所全体で受け止め、対応を検討していきます	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月一回のペースで会報を発行しています。また、活動予定表をホームページにて公開して見通しや期待が持てるようにしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・関係機関との情報交換については契約時に保護者に説明し、同意を得た上で行っています。また、会報等への写真、名前の掲載については保護者に確認し、同意を得た方のみ掲載しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもの性格や状況に合わせて絵カードや写真などの視覚支援を実施しています。また、手話や指文字を活用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・現時点で交流する場を設けていません。	・今後は事業所の周知、理解を図るためにも必要事項と考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・マニュアルを策定し、職員は周知しています。保護者には契約時に重要事項として対応方法等の説明を行っています。	・更なる周知を図っていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・事業所にて全職員で必要な訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止に関する研修を毎年行っています。また、虐待につながらないために職員間の連携や心のケアに努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・契約時、重要事項を説明する際に、身体拘束について説明を行い、同意を得ています。現時点では身体拘束を行った例はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	・現時点でアレルギーのある児童はおりません。 ・利用前に、アレルギーの診断の提出を依頼し、内容を確認して対応しています。	

児童発達支援センター クオラバンビーノ

【2023年度】《事業所職員向け》放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容や改善目標
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットする事例が発生した際には速やかに原因の把握、防止策を検討し、報告書を作成しています。報告書は全職員が閲覧し、再発防止に努めています。	